

高島地域センターだより

9月号

9～10月の行事・イベントなど

9月3日(火)	17時30分 ～ 18時30分	子どもを守るネットワークパトロール
10月1日(火)	17時30分 ～ 18時30分	子どもを守るネットワークパトロール
10月5日(土)	9時40分 ～ 14時35分	青空楽校 IN 高島 ～秋編～ (受付は9時30分から)

高島地域センターだより No.84
発行日：令和6年9月1日(日)
編集：高島地域センター
〒851-1315
長崎市高島町 1728 番地 1
☎095-896-3110 (代表)

高島地域センター管内の人口
(令和6年7月末現在)
■人口 258人 (R5.7月末 282人)
【男 123人、女 135人】
■世帯数 183世帯

高島地域センターだよりのバックナンバー公開中！

アクセスは
こちらから



新型コロナウイルスの感染を予防しましょう！

全国的に新型コロナウイルス感染者が増え、高島診療所でも新型コロナウイルス陽性と診断されるケースが出ています。

「手指消毒」や「部屋の換気」など基本的な感染予防対策を徹底し、必要に応じて予防接種(有料)も検討するなど感染しないよう気を付け、もし感染したときは、他の人にうつさないように対策をしましょう。

お問い合わせ：高島診療所 (☎896-2048)

新型コロナウイルスの
詳しい情報はこちら
(厚生労働省ホームページ)



マイナ保険証の利用登録手続きはお早めに！

マイナンバーカードと健康保険証の一体化にともない、令和6年12月2日(月)以降、現行の保険証は発行できなくなります。

ただし、令和6年12月1日(日)以前に交付された保険証は、保険証に記載の有効期限まで利用できます。

令和6年12月2日(月)以降に健康保険が変更になった方や保険証の有効期限が切れる方のうち、マイナンバーカードをお持ちでない方及びマイナンバーカードの健康保険証利用登録をしていない方には、健康保険証に代えて医療機関に提示する「資格確認書」が加入している健康保険から交付されます。

マイナンバーカードを健康保険証として利用するためには、医療機関の窓口やマイナポータルでの登録が必要です。(高島地域センターでも登録できます。)

詳しくは、ご自身が加入している健康保険にお尋ねください。

なお、国民健康保険の方は国民健康保険課(☎829-1136)へ、後期高齢者医療制度の方は後期高齢者医療室(☎829-1139)へお尋ねください。



「災害から地域を守る」高島地区の消防団員を募集します

長崎市では、消防団員の数が毎年入団者を退団者が上回る状況が続く、団員数が減少し続けています。

高島地区においても同様で、消防団員の数は毎年減少し、また団員の高齢化によりその消防力は低下していく傾向にあります。

高島は離島のため、大火や地震による建物の倒壊など大規模災害が発生した場合、本土からの応援が到着するまでの間を、地域の団員等で対応しなければなりません。



幸いにも、ここ数年は火災等もなく出動がありませんが、地域住民を災害から守るためには、消防団を核とした地域における防災活動の担い手を十分に確保することが必要ですので、高島地区で活動する消防団員を募集します。

また、他地区では女性の入団が増えており、女性消防団員として多数の方が活躍されています。これまで消防活動に関心がなかった方も「自分たちのまちは自分たちで守る」という自覚を持っていただき、ご応募いただきますようお願いいたします。

・お問合せ：長崎市消防団高島地区本部（☎896-3110 高島地域センター内）

「イノシシ被害から地域を守る」有害鳥獣の捕獲隊員を募集します

高島地区では、平成26年からイノシシが出没し始めたため、翌27年にイノシシを捕獲するための捕獲隊を結成しました。

捕獲隊とは、イノシシを捕獲するための箱罠の免許を持っている者と有害鳥獣対策の講習を受けた者とで構成され、イノシシなど一部の鳥獣を捕獲できる地域主導の団体です。これまでに164頭のイノシシを捕獲しています。

現在も畑を荒らして穀物を食べたり、道路周辺を掘り起こしたりする作物被害や環境被害は一部発生していますが、幸いにも人的被害は出ていません。

今後の被害を最小限に食い止めるためには、捕獲隊の継続した活動が必要ですが、現在は8名の隊員で活動しており、1人あたりの負担が大きく、十分な活動が困難な状況になってきています。

当協議会としましては、イノシシ被害の低減と地域住民の安全を守るためにも、地域の皆様のご協力が必要と考えておりますので、意欲ある方はご応募いただきますようお願いいたします。

・お問合せ：高島地区有害鳥獣対策協議会（☎896-3110 高島地域センター内）

高島診療所窓口での事務処理について

現在、高島診療所では、諸事情により領収書の発行や薬のお渡しにかかる時間が通常より長くなっており、患者の皆さまには大変ご迷惑をおかけしております。

今後は、なるべく早期に診療所業務をスムーズに運営できるよう体制を整えてまいりますので、引き続き皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

・お問合せ：高島診療所（☎896-2048）

「サイエンスアイランド高島」への道（その3）

ブリの稚魚たちは、ますます大きく育っています！

今回も、高島水産研究所の藤川稔晃特任研究員にブリの稚魚のことや、種苗生産の研究などについてお話をうかがいました。



＜現在の稚魚の大きさ＞

2,000匹の稚魚は、引き続き予想よりも速いスピードで成長しており、前回（6月中旬）取材したときは約20cmだったものが、8月中旬現在、約30cmになっているそうです。ブリは出世魚で大きさによって呼び名が変わりますが、「ワカナゴ」と呼べるくらいの大きさとのことでした。



ブリの稚魚たちは約30cmに成長し、今では3つの水槽に分けて飼育されています。

＜現在行っている研究＞

引き続き、長崎大学の学生の皆さんが、高島水産研究所のブリの稚魚を月に20匹程度採取して、様々な調査研究（「高島地域センターだより」7月号参照）を行っています。

また、ブリの種苗生産に向けてのマダイを使った事前試験も順調に進んでいるとのことでした。藤川特任研究員は「水温管理やエサとなるプランクトンの与え方など、この試験で得られたノウハウは、これから始まる高島水産研究所でのブリの種苗生産の研究に活かせるのではないかと話していました。



事前試験で飼育しているマダイの稚魚。前回（6月中旬）取材したときは、肉眼で何とか見える程度の大きさでしたが、7～8cmにまで成長していました。

＜今後の予定＞

高島水産研究所で飼育しているブリの成魚に産卵させるため、11月ごろから環境操作の準備に入るそうです。藤川特任研究員によると、「ブリに産卵させるための環境操作の技術はすでに確立されたものがあるが、環境の違う高島水産研究所でその技術が応用できるのか試行錯誤していくことになる。様々な困難が予想されるが、順調ならば来年1月ごろには卵を採取することができるのではないかとのことでした。

また、これとは別に、来年1～2月には高島水産研究所に五島からブリの卵が来る予定で、陸上の高島水産研究所で飼育したブリの成魚から採取した卵と、五島から来た卵の両方を使って、種苗生産の研究が続けられます。

能登半島地震災害義援金にご協力をお願いします

能登半島地震で被災された多くの方々は、今も不安な避難生活を強いられています。

長崎市では本庁や各地域センターなどに募金箱を設置し、お預かりした義援金は日本赤十字社を通じて、全額被災地へ寄付します。

これまで多数の皆さまにご協力をいただいております。引き続き温かいご支援をよろしく申し上げます。



高島地域センターでは、1階カウンターに募金箱を設置しております。

地域おこし協力隊員より ~7月の活動報告~

皆さまこんにちは。地域おこし協力隊の池田です。

先月お伝えしたとおり、7月18日（木）、長崎県主催の「しまチャレ2024」のイベント「しまの先輩起業家トークセッション」に参加し、高島についてお話しさせていただきました。



イベントでは、高島での暮らしと仕事に関する質問もあり、参加者の関心の高さを実感しました。SNSでも「高島に行ってみたくなった」、「知らなかった高島の魅力を知ることができた」といった嬉しいコメントをいただきました。

<寺子屋活動に参加>

夏休み期間中、小・中学生の自主学習寺子屋で見守り員として活動しました。

子どもたちの学習を支援しましたが、逆に子どもたちから、あらためて高島の魅力を教えてもらうこともたくさんありました。「展望台からの景色が最高だよ!」、「北溪井坑跡の近くの桜のトンネルは春にしか見られない絶景だよ」、「海はコバルトブルーで、かわいい魚がいっぱいいるよ」、「高島のトマトは甘くて美味しいよ!」など、子どもたちの言葉は、高島の魅力を再認識させてくれるものばかりでした。



自主学習寺子屋の様子

<高島の子どもたちとともに>

高島が大好きな子どもたちと一緒に、島の未来を創るための企画も考えたいと思っています。

高島には、島外の人には知られていない魅力がたくさんあります。子どもたちのアイデアを取り入れたイベントや、島の自然や文化を学ぶプログラムなど、地域の魅力をさらに発信し、高島を盛り上げていきたいと思っています。

高島フォトダイアリー

今年も盛り上がりました！ ～UMIBOUZ IN 高島～

7月20日（土）、27日（土）、8月3日（土）、10日（土）、高島地区まちづくり推進協議会主催による「UMIBOUZ IN 高島」が高島海水浴場で開催されました。

今年の「UMIBOUZ IN 高島」では、大声大会や水鉄砲・的当てゲームなどのミニイベントのほか、指令書に従って島内をめぐり、宝物を見つける「高島で宝探し」も行われました。

8月10日（土）は、16時00分から音楽イベント「UMIBOUZ IN 高島 タカシマタカラジマ2024」が行われ、「アイランド合唱団」や「RAINBOW MUSIC」などの皆さんが次々にステージに登場し、夕暮れの海水浴場に素晴らしい歌声を響かせました。



島民も帰省客も和やかに・・・ ～高島ふるさと夏祭り～

8月11日（日）、高島海水浴場で高島地区まちづくり推進協議会主催による「高島ふるさと夏祭り」が開催されました。



飼い主のいない猫への不適切なエサやりはやめましょう

長崎市では、「飼い主のいない猫への給餌等に関する要綱」で「置きエサ」はしないことと定められています。

ところが、島内各所で「置きエサ」が見られ、その「置きエサ」を複数のイノシシが食べているところが目撃されています。

イノシシによる事故が発生する前に、土地・建物の管理者の許可や自治会などの理解が得られていない場所での不適切な「飼い主のいない猫への給餌等」は、やめましょう！

<各種問合せ先>

高島診療所が休診のとき	救急の場合 ☎119 救急ではない場合は、平日の診療時間内（8時30分～12時00分、13時00分～17時00分）に受診してください。
医療や救急車についての相談	救急安心センター ☎#7119 ← 迷ったときは 年中無休24時間対応 <ul style="list-style-type: none"> ・救急車を呼んだほうがいいのかな？ ・今すぐ病院に行くほうがいいのかな？ ・どこの病院に行けばいいのかな？
市営住宅に関すること	市営住宅管理センター（B地区） ・月～金 8時30分～17時30分 ☎829-2991 ・夜間 17時30分～8時30分 土日祝日、年末年始 ☎828-0201
災害時、避難所が開設されていないが避難したいとき	防災危機管理室 ☎822-0480 または あじさいコール（長崎市コールセンター） ☎822-8888
土砂崩れなどを発見したら	☎119
粗大ゴミ、家電4品目や動物の死がいの廃棄	福島清掃 ☎848-9645
定期船の欠航など	野母商船（株） ☎826-6238
防災行政無線情報	☎050-5530-9908 
高島のイベント、高島のその他情報	高島観光ナビ 
「高島地域センターだより」への掲載依頼	高島地域センターに早めにお知らせください。 ☎896-3110
市役所の手続きなど	あじさいコール（長崎市コールセンター） ☎822-8888 （8時00分～20時00分 年中無休）
市政に関する動画	YouTube（ユーチューブ） 長崎市公式チャンネル 

≪編集後記≫ 9月になりましたが、毎日厳しい残暑が続いています。自宅で熱中症にかかるケースも多いそうです。冷房を上手に使って、熱中症にならないようにしましょう。（たみ）